議会だより

9月定例会

役場庁舎増改築工事請負契約の締結が否決・取り下げ

他の17議案は可決

町議会9月定例会は9月12日(火)から22日(金)まで開かれ、20議案を審議し、17議案を可決しました。否決されたのは町役場庁舎増改築工事請負契約の締結で、それに関連する2議案が取り下げられました。可決された主な議案は昭和63年度ガス・水道事業会計決算、平成元年度一般会計補正予算、町道路線の廃止・認定などです。請願は養鶏舎建設反対など5件上程、すべて採択され、意見書が2件関係機関に提出されました。一般質問には9人の議員が立ち、交通安全対策、農業後継者問題、排水問題などについて町長にただしました。

日程

9月12日(火)　会期の決定。行政報告並びに議案の上程。議案の説明、質疑、討論、採択（諮問第1号、議案第43、44号、57、58号）議案の説明、質疑、委員会付託（議案第45号～56号）請願・陳情の上程、質疑、委員会付託

13日(水)　総務文教委員会

14日(木)　産業建設委員会

15日(金)～17日(日)　休会

18日(月)　厚生企業委員会

19日(火)　一般会計予算審査特別委員会

20日(水)　一般質問

21日(木)　休会

22日(金)　委員長報告・質疑・討論・採決（議案第45～56号）請願陳情審査報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告

議案

■人権擁護委員の推薦（諮問第1号）
弦巻長吉氏（寺地本村・60歳）を人権擁護委員に推薦することに議会が同意。

■固定資産評価員の選任（議案43号）
黒埼町助役・横木正義氏を固定資産評価員に選任することに同意。

■黒埼町教育委員会委員の任命　(44)
五十嵐芳朗氏（木場新田・49歳）を町教育委員会委員に任命することに同意。

■黒埼町減債基金条例の一部改正　(45)
普通交付税の算定で財源対策債償還基金費が基準財政需要額に算入された措置に対応するため、改正。

■黒埼町表彰条例の一部改正　(46)
表彰の対象について改正。

■黒埼町報酬額及び費用弁償並びにその支給方法及び地方自治法第二百七条による実費弁償に関する条例の一部改正　(47)
法律の一部改正に伴い、選挙長・投開票管理者の報酬を職務一回につき七〇〇〇円から七五〇〇円に、選挙立会人・投開票立会人の報酬を職務一回につき五七〇〇円から六一〇〇円に改正。

■黒埼町児童遊園設置条例の一部改正　(48)
中之口川河川敷改修に伴い中之口川河川児童遊園（通称・交通公園）を廃止し、寺地西団地開発に伴い寺地西団地児童遊園を新設する。

■黒埼町ガス供給条例の一部改正　(49)
字句の整理を行うため改正。

■黒埼町道路線の廃止（50）
新潟県物産センター建設予定地内にある山下自動車教習所線を廃止。

■黒埼町道路線の認定（50）
寺地西団地の完成により十路線、山田の開発計画に伴い二路線を町道に認定。

■平成元年度黒埼町一般会計補正予算（第5回）　(52)
3億9310万2千円増額し、総額56億652万円に。
◎補正された主なもの
道路橋梁用地買収費1億1742万6千円減、山田小学校地下道建設工事委託量8187万9千円、山田小学校用地買収費6045万1千円増、減債基金積立金1億8836万円、など。

■平成元年度黒埼町国民健康保険特別会計補正予算（第1回）　(53)
5286万円増額し、総額10億3385万6千円に。

■平成元年度黒埼町老人保健特別会計補正予算（第2回）　(54)

■平成元年度黒埼町水道事業会計補正予算（第2回）(55)

■平成元年度黒埼町ガス事業会計補正予算（第1回）(56)
内容略。

■昭和63年度黒埼町水道事業会計決算認定　(57)

■昭和63年度黒埼町ガス事業会計決算認定　(58)
10月号で紹介済み。

■黒埼町役場庁舎増改築（建築）工事請負契約の締結について　(59)
2億9046万円で、水倉・山際総合建設共同企業体と契約。
※否決。

■黒埼町役場庁舎増改築（電気設備）工事請負契約の締結について　(60)
大東電業・志賀電気特定企業共同体と5716万5千円で契約。
※取り下げ

■黒埼町役場庁舎増改築（機械設備）工事請負契約の締結について　(61)
8693万2千円で鈴木・朝日建設共同企業体と契約。
※取り下げ

請願

※すべて採択されました。

■山田土地改良区排水事業の管理移管に関する請願書（請願第7号）
提出者　山田土地改良区理事長　斉藤勝
都市化が進み土地改良事業が施行出来ず、運営が困難であるため、山田土地改良区排水事業の町への管理移管を実施するよう請願します。

■善久保育所新改築に関する請願書　(8)
提出者　善久自治会総代　武樋繁雄　ほか2名
善久保育所は当町でも一、二番目に設置された古い施設であるため、施設の老朽化がはなはだしく、父母を中心とする関係者から早期新改築を強く要望されているので新改築を請願します。

■町道改良並びに舗装整備に関する請願書　(9)
提出者　善久自治会総代　武樋繁雄　ほか2名
町道善久15号線は善久東に位置し、三国コカコーラボトリングと新潟証券業組合グランドの間を通り信濃川堤防の側道に通ずる道路であり、昭和55年に町道認定されたが、近年信濃川堤防完成に伴い側道に面し企業が進出し、当該道路の舗装整備が強く要請されている。早急に舗装整備願いたく、請願します。

■養鶏舎建設の反対を求める請願書　(10)
提出者　金巻総代　前田松平　ほか3名
JR東日本が、金巻地内の新幹線高架下にキジ・鶏約三千羽を飼育する目的で養鶏舎の建設を開始したが、そこから発生する悪臭・騒音・ハエなど畜産公害が地域住民に及ぼす環境悪化ははかりしれないものがあるため、養鶏舎の建設について反対を決議し、建設中止を働きかけるよう請願します。
※この請願に基づき、養鶏舎建設反対決議書（議員提出議案第2号）が決議され、意見書が、環境庁長官・運輸大臣・新潟県知事に提出された。

■水田農業確立後期対策ならびに良質米奨励金の現行確保に関する請願について　(11)
提出者　黒埼町農業協同組合長理事　本間春市
水稲を基幹とする本県水田農業の発展と農家経済の安定、地域経済社会の安定をはかるため、転作等目標面積の傾斜配分等良質米主産県に配慮した水田農業確立後期対策の策定ならびに良質米奨励金をはじめ自主流通助成の現行確保が実現されるよう請願を採択いただき、意見書を政府等へ提出されるようお願いする。
※この請願にもとづき、意見書が内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣、食糧庁長官に提出された。

一般質問（要旨）

農業後継者対策（嫁・婿）対策は農村の環境整備やグループ活動で

A議員　後継者対策について　①農家の嫁、婿募集の企画を組めないか　②農業後継者対策の企画を組めないか　③30歳以上の独身者の数は。魅力ある、活力ある農村に、プライバシーの問題、といっても行政も何かやる必要があると思う。ほかの市町村では結婚相談員とかの制度がある。

町長　農家の嫁、婿対策は平場の都市近郊農村ではあまり例がない。農家の諸団体から意見もない。ただし、嫁不足という問題があることは認識している。①プライバシーの問題がある。イベントを否定するつもりはないが、それ以前にいい農村をつくることが肝心と考えている　②ソフトな活動として昭和56年から一年20人の男女で農業の学習会などをして、現在160人ぐらいで「大地の会」という会をつくっている。ほかにもサークルがある。ハード面では町内にミニライスセンターを造り共同組織を育成している。

農政課長　③調査していない。概数では70人以上と思う。

町長により入札業者が変わるが公平だ。地元企業を育成したい

A議員　指名競争入札について　町長がかわるたびに、指名される業者が変わる。前町長時代に割合優遇された企業が最近余り指名されない。町民から、またか、の声が聞かれる。町長は公平にすべきと思う。①土木、建設、給排水設備、電機設備、それぞれの指名願い数は　②工事請負指名の基準は　③地元業者育成に定義はあるか、町民が勤務している町外企業も多い。④指名回数に制限はあるか　⑤指名委員会の委員は

町長　①指名願いの数は土木が282業者、建設194、給排水設備192、電機設備149。重なっている業者もあるので517業者。②指名委員会で十分検討し、地元業者育成の立場で行う。政治的な判断が求められている。与党企業という考えはない。③町の財政力を付けるためには地元業者を育成しなければならない。④ない。ただ、公平に公正にしていただきたい。⑤町長、助役、総務課長、財政担当者とその所管の課長や事務局。

職員の募集、内定者がいるのではいない。あくまで公募で採用する

A議員　黒埼町職員募集について　①一般行政初級（土木技術）②一般行政上級（土木技術）③一般行政上級（文化財専門員）それぞれの申し込み数と職種の内容は　④既に内定している人がいるのか。先日そういう人に会ったが、この人は公募外の人なのか。

町長　①1名　②3名　共に技術吏員　③2名で事務吏員。内定はしていない。遺跡の発掘で県の指導をうけて先日、人が見つかった。しかし、本町はあくまで公募と県にも伝えてある。

東京行き高速バスを鳥原に停車を本町は新潟市内圏で停車は難しい

A議員　池袋行き高速バス鳥原停留所停車について　7月のダイヤ改正で東京行き高速バスが、巻潟東に停車することになった、本町の鳥原にもとめてほしい　①なぜ7月24日のダイヤ改正で実現しなかったのか　②今後の町当局の対応は

町長　①今回の改正は、事前に計画されていた。鳥原は県庁前停留所に近いため新潟市

高速バスの鳥原バス停